
魔法先生ネギま！～英雄の息子は錬金術師～

R o c k

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法先生ネギま！〜英雄の息子は錬金術師〜

【Nコード】

N0836BA

【作者名】

Rock

【あらすじ】

ネギの弟に転生した男の物語。

鋼錬のエドの仕様で錬金術は使えるが、魔法が使えない体質の持ち主が、ネギま！の、世界でどう生きるのか？

第1話 卒業と修行先（前書き）

はじめまして、そして明けましておめでとう御座います。

初めての投稿のため、不快な感じを受ける方もいるかもしれませんが、読んで、感想くれるとうれしいです。

誤字、脱字の指定は遠慮なく！

第1話 卒業と修行先

メルディアナ魔法学校・講堂

Side エド

「卒業生代表挨拶。

代表、ネギ・スプリングフィールド。」

「はい!!」

俺はエド・スプリングフィールド。

ネギの双子の弟に転生した人間だ。

転生時の事は覚えてないが、神様は俺の事が嫌いらしい。

父親のナギさえ凌ぐ魔力を持ちながら、一切の魔法が使えない。

しかし、名前の通り鋼錬の『エド』の仕様にオツドアイ、それに錬金術が使えた。

そのため魔力は身体強化か、精霊を使わない物だけに絞られた。

魔法を使えないので、5歳の時から鍛錬をしてきて、今では身体強化なしでも、かなり戦える。

他の魔法使いからは『落ちこぼれの英雄の息子』、『無能な英雄の子』、などと陰口を叩かれたが、戦闘技術は俺の方が上である。

終いにはネギから『立派な魔法使い（マギステル・マギ）に成れないけど、一緒に頑張ろ!!』と、言われた。

原作を知っていたが、何故そんなものになりたい？

俺には理解できん。

「以上で卒業式を終了とする。」

回想に浸って居たら終了していた。

しかし、こんな時でも陰口が止まないのは、なんでかね？

座学は2位、実技は平均以上、魔法具、魔法薬の成績は3年間トップ。

呪術系は解呪なら出来るし、普通に飛び級して当たり前な成績なのに。

あれか？

魔法が使えないイコール飛び級資格なしなのか？

魔法は使えなくても生活には困らんし、必要ないだろ？

コッソリ、アリアドネーに出した『魔法と錬金術の応用性、戦闘時の汎用性』のレポートはあっちじゃ高評価なんだぞ！

それに、『錬金術と魔法の融合術式』も開発した。

送り主欄には『エドワード・エルリック』だ！！

この学校の教師は、俺が錬金術を使えることも、レポートをアリアドネーに送っているのも知らな。

教える理由が無いし何よりこの学校の教師には、恨みは有っても恩はない！！

あつ、ネギがこっち来た。

こっち来るなよ、何時もお前と比べられる俺の身にもなれよ。

あゝあ、また悪態吐いてるよ、あの教師。

確かに魔法が使えないのに、正面から術式ミスや効率のいい術式の組み方論破したけど。

図書室にいくらでも有るじゃん、そんな参考書。

そんな事を考えながら講堂を後にする俺に、ネギがくつついてくる。

メルディアナ魔法学校・廊下

「ネギとエドは、修行場所何処だった？

私、ロンドンで占い師だったけど。」

「何処の成るのかしら？」

此奴は幼馴染のアーニヤ事、アンナ・ユーリエウナ・ココロウア。そして、従姉妹のネカネ・スプリングフィールドだ。

「俺はまだ浮かんでこないな。
ネギは？」

「僕もまだ。」

「お？浮かんできた。」

そこには原作道理『日本で先生をやる事。』
何考えてんだか。

その後、アーニヤ、ネカネ姉、ネギ、俺で校長に抗議しに行った。
アーニヤには『エドは大丈夫かもしれないけど、ネギは絶対に無理
よ！！』と言われ、ネカネ姉は貧血で倒れかけた。

しかし校長は、

「卒業証書に書いてあった事じゃ、変更はできん。
それに『立派な魔法使い』に成りための修行じゃ。
安心せい、修行先は俺の知り合いの学校じゃ。」

いや、全然安心できねえから、それ。

「はい！！！」

ネギは元気だねえ〜。

「俺はヤレと言われた事は、ヤリますよ。
既に決まったことなら、ヤリましょう。」

ネギのせいで人生を壊される人間は、最低限でいい。

「エド！」

僕、負けないよ!!!」

「俺は、立派な魔法使いとやらには興味が無い。

俺は魔法がつかえねえーんだから。

それに、負けないって魔法使いとしてか？

何度も言うが、俺は魔法がつかえねえーんだ、勝負にすらなつて無い。

」

「で、でも、いつか必ず使える様になるよ!

だって、僕たち父さんの、サウザンドマスターの息子だよ!」

またか。

父さん、父さんうるせえ。

「一度も合つた事のない人間を、父親とは言わん。

お前は合つたかもしれんが、俺は合つて無い。

それに、魔法なんかなくても生活できるし、仕事も出来る。」

ああ〜イライラする。

「そうかも知れないけど……。」

で、でも「悪い、この話は平行線だ。

それに帰つて、日本に行く準備もしなきゃならん。

俺はパスポートが発行され次第日本に行く。

くれぐれも、初日から遅刻とかやるなよ？」
……、う、うん……。」

俺はあの時の事件から一人暮らしだった。
それに、この輪には俺はなじめない。

3日後、パスポートが発行され、俺は誰にも何も言わずに日本に向
かった。

この先に起こる未来の事を考えながら。

第1話 卒業と修行先（後書き）

如何でしたでしょうか？

パスポートがどれ位で、できるか知らないのですが、多分早いと3日位
でできるかな？

みたいな感じで仕上げました。

次回の投稿は未定ですが、また読んでいただけると嬉しいです。

次回の内容は明日菜、木乃香との接触を予定しています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0836ba/>

魔法先生ネギま！～英雄の息子は錬金術師～

2012年1月1日23時54分発行